

マイクロイメージによる WMS と ArcIMS カタログ

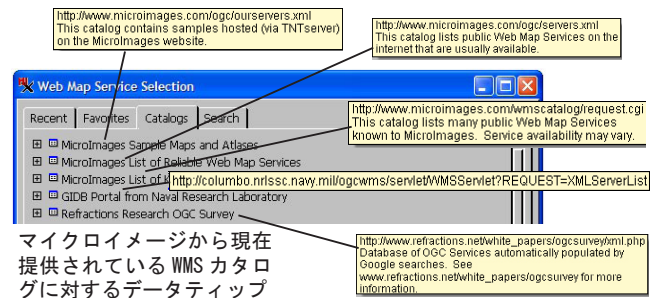
マイクロイメージを含む様々な機関が、インターネット上で公開されている WMS のカタログを整備しています。これらのカタログの名前とアドレス (URL) は、TNT 製品の一部として XML ファイル形式でインストールされ、これら WMS で公開されている地図や画像レイヤの場所を探すのに役立ちます。〈ウェブマップサービス選択〉ウィンドウの [カタログ] パネル上の該当するカタログリストの表示には、インターネットや WMS への接続は必要ありません。このパネルの中のカatalog名の上でカーソルを止めると、どこに公開されているか (カタログの URL) や、マイクロイメージがカタログリストに付け加えた時の作成者が提供した概要を表示することができます。

マイクロイメージは ArcIMS のカタログの同様のリストを整備しており、XML ファイルとして TNT 製品とともにインストールしています。XML ファイルは、ArcIMS レイヤを付け加えるとき、〈ArcIMS サービス選択〉ウィンドウの [カタログ] パネルにデフォルトの内容を提供しています。また、マイクロイメージは WFS カタログの整備も開始しました。WFS レイヤのサポートはまだ完全ではないため、WFS の情報は TNT 製品とともにまだインストールされません。

カタログの左側の + をクリックして拡げると、TNT 製品はそのアドレスを使ってインターネットに接続して、カタログを持つウェブサイトに対してカタログの現在の内容を要求します。例えばマイクロイメージのカタログは頻繁に更新され、日々チェックされていますので、あなたの照会結果には最新の内容が反映されます。XML 形式でカタログを受信すると、索引の付いた WMS は普通の文に戻され、[カタログ] パネルに一覧表示されます。カタログ中のサービスに対するデータティップには、サービスの URL が表示されます。マイクロイメージの現在の WMS カタログには、900,000 を超える地図や画像レイヤを公開している 2,000 以上の WMS の索引があります (下表)。マイクロイメージの現在の ArcIMS カタログには、約 400,000 レイヤを提供する 20,000 以上の ArcIMS アクセスポイントが一覧表示されています。

選択したカタログのリストから WMS を選ぶとその WMS に二番目の要求が行き、その WMS が公開している地図や画像レイヤに関する様々な標準情報 (利用可能なレイヤ名やタイトル、それらの地理的な範囲や形式、サポートされている座標参照系、アクセス許可の要件など) が入手できます。ArcIMS サービスからの返答の中で利用できる情報が少なく、レイヤ名と地理的な範囲しかありません。

2008年5月16日 現在	サービスタイプ		
	WMS	ArcIMS	WFS
個別のサーバ数	404	1,015	72
サービス数	2,416	20,171	144
レイヤ数	982,735	439,741	4,114



マイクロイメージから現在提供されている WMS カタログに対するデータティップ

サービスからの返答の後にステータス行の上でカーソルを止めると、サービスのタイトルや WMS バージョン、高さや幅の最大値、アクセス、WMS に対する制限などがデータティップとして表示されます。詳しくはテクニカルガイドの“空間表示:WMS レイヤの検索と使用 (Spatial Display: Locating and Using WMS Layers)”を参照して下さい。この情報は ArcIMS サービスでは利用することができないため、データティップの情報は多くなく、上図のように行の中に URL があるだけです。詳しくはテクニカルガイドの“空間表示: ArcIMS レイヤの検索と使用 (Spatial Display: Locating and Using ArcIMS Layers)”を参照して下さい。

WMS か ArcIMS を選択してサイトが適切な情報で応じると、[OK] ボタンがアクティブになり、〈サービスレイヤコントロール〉ウィンドウが開いて各サービスが提供するレイヤを閲覧することができます。このコントロールウィンドウの目的は、ベクタや CAD、ラスタ、他のオブジェクトタイプを表示ウィンドウに追加したり、すでに表示しているオブジェクトの表示パラメータを修正する場合と似ています。WMS から興味のある地図や画像レイヤを選択し、パソコンにある地理データとともにどのように描画するか設定することができます。サービスから発信される CRS や形式から希望のものを選択し、レイヤ全体の透明度を設定し、ヌルを扱うために背景色や白、黒をどのように検出するかを選択することができます。サービスがサポートしていない CRS のレイヤを表示している場合、TNT はそれに合わせてウェブレイヤを変形させます。

〈サービス選択〉ウィンドウの [カタログ] パネル上の [カタログの追加] ボタンをクリックしてカタログの URL の場所と使いたい名前を入力することで、TNT 製品でインストールされた WMS や ArcIMS のカタログリストに自分のカタログを追加することができます。ここで入力したカタログはあなたのパソコンのカタログの XML ファイルに追加されます。